

学校事務職員として学校運営ビジョン実現に向けた取組

南会津町立田島小学校

主査 阿久津恵利子

1 はじめに

本校は普通学級7学級、特別支援学級4学級が設置され、児童数201名、教職員数37名で南会津郡内では一番大きな学校であり、めざす学校像を「笑いあふれる田島小」とし教育活動に取り組んでいる。

その実現のため学校運営ビジョンにおいて以下のキーワードを設定し、教職員だけでなく児童、保護者そして地域が一体となり取り組んでいる。1つ目は、知・徳・体の教育の充実に向け3びきのぞうさん「がんばるぞう・みつけるぞう・まけないぞう」、2つ目としてキャリア教育の充実のため「魔法のランプ」、最後に実行力を意識させるための「チャレンジ」である。ここでは学校事務職員として学校運営ビジョンの実現に向け、学校運営への積極的な参画の観点から以下の実践の取組を紹介する。

2 実践内容

(1)「3びきのぞうさん」～学びの環境改善アンケートの実施～

①アンケートの目的

学校運営ビジョンの「まけないぞう」さんに「学校事故防止と安全教育」の観点から学校施設設備の適切な管理・保守点検が掲げられている。次年度の予算を要求するにあたり、児童が安全で学びやすい環境を整備したり、困っている物やことを見つけたりすることを目的に、学びの環境改善アンケート「こうだったらいいな」「こんなものがあればいいな」を実施した。

②アンケートの実施

アンケートは4・5年生を対象にGoogle フォームを活用して実施した。自分の教室や理科室、家庭科室、音楽室など、教室ごとに回答を行った。



アンケートの依頼



Google フォームによるアンケート



アンケートでは「机といすが使いにくいこと」や「カーテンが汚れていること」「理科室の実験器具を新しくしてほしいこと」などたくさんの意見が寄せられ、普段気づくことができないことを教えてくれた。アンケートの結果を踏まえて今年度予算で対応可能な修繕箇所は修繕し、購入が可能である教材教具は購入を進めた。その中でも児童用机といすは、かなり大きな予算が必要であるため、3カ年計画での整備を教育委員会へお願いし、3年間で230台の机といすを購入できた。

[illegible]

①「じむしつ」発行の目的

学校事務職員としてできるキャリア教育の視点での実践として、先のアンケート結果を周知していたお知らせを、キャリア教育の視点に絞り、児童向け事務だより「じむしつ」として作成し、発行した。

「じむしつ」において、学校を支えている人たちの職業や仕事の様子を児童に知らせ、いろいろな仕事があることや仕事をしてくれる方のおかげで学習環境が整備できることを伝えた。

③「じむしつ」を発行してみて

学校事務職員として接している業者が児童にとって「キャリア教育」を進める上で大変貴重な資源であることが再確認できた。また、児童が「楽器を修理していただきありがとうございます。」と事務室に来てくれたり「【じむしつ】まだですか?」と尋ねられたり、「これも【じむしつ】に載せてください。」とリクエストをされたりするなど、児童との会話が増えた。



「じむしつ」 1号



「じむしつ」 2号



「じむしつ」 7号



「じむしつ」 8号

(3) 効果的な事務室経営に向けて

事務室の前にはメダカの水槽が置いてあるが、教室でうまく対応ができなかったり、困ったりしたときに児童が心を休め、メダカに癒やされ教室に戻る光景を目にしていた。アンケートや「じむしつ」発行で児童との距離が短くなり、事務室に来る児童が抵抗なく訪問できる空間として現在休み時間に開放している。コロナ禍でできていなかった異学年の交流の場となり高学年の児童が低学年の児童の世話をするなど微笑ましい場面も多く見られた。

また、特別な支援を要する児童も参加し一緒に活動するなど交流の場としても機能したようで、学校事務職員として思いがけない児童の様子をうれしく見ている。



3 成果と課題

学校運営ビジョン実現のために学校事務職員ができることを試みた。いつも事務室に一人で仕事を進めているが、3つの実践により児童や職員と会話が増え、児童の変容をとらえることができ学校運営の一端に参画できた満足感をもつことができた。

これからも、学校に唯一の行政職として「ひと かね もの 情報」をつなぎ、学校運営にかかわる職員の一員として、児童の学びの環境充実と学校運営ビジョンの具現化に向けて寄与していきたい。